

第 3 2 回例会報告 (2月20日)

【 出席 報 告 】

・ 会員数 61名 ・ 出席数 45名 ・ 欠席数 16名
 ・ 当日出席率 82.35% ・ 前々回修正出席率 96.08%
 < 欠席会員 > 伊藤、門田、笠間、川上、吉良、佐伯、佐々木、竹田、矢野
 [免除会員] 原、松本、中川、瀬野、曾我部、宇高、吉田
 < 2 / 6 欠席補填 > (1/27今治北)野間、(1/27松山北)宮本、佐伯、(2/4今治南)天野、
 檜垣(巧)、笠間、尾越、(2/6新橋)八木、(2/10今治北)平尾、川上、村上(修)、
 寺町、(2/17今治北)冠、(2/18松山西)青野

会長報告・2月16日(日)、今治東LC結成30周年記念式典に出席しました。
 ・本日はロータリー創立記念例会で通常は会長の卓話の時間ですが、適任者である金森会員にお願いしました。
 八木会員挨拶・11月に藍綬褒章を受章して以来欠席していました。皆様に祝意を頂きありがとうございました。地元の方々と助け合って、地域の発展のために更に励みたいと思います。
 幹事報告・ガバナー月信2月号の2ページ「第3回写真展開催」のクラブ名が「丸亀ロータリークラブ」となっていますが、正しくは「丸亀東ロータリークラブ」です。小倉地区代表幹事より訂正とお詫びの連絡が届いています。
 ・回覧物；ロータリーワールド、米山寄付明細、ハイライトよねやま、他
 親睦活動委員会報告・第4回ゴルフコンペの案内；3月16日(日)7:30 集合、8:00 スタート、サンセットヒルズカントリークラブにて。尚、第5回コンペは4月13日(日)サンセットヒルズカントリークラブ、第6回コンペ(兼3RC合同親睦ゴルフコンペ)は5月3日(土)今治カントリークラブで開催します。

ロータリー創立記念例会 「ロータリーの心」 金森節生会員

大都会のクラブの例会では来訪ロータリアンの90%以上の方が中途退席するが、名門クラブ横浜RCでは中途退席する者はいない。例会の前半は親睦、後半は奉仕を学ぶ時間、職業奉仕の思想が会員一人一人に徹底しているからだと思う。

一般的には「利益」は自分のため、「奉仕」は他人のためと理解されるため、「友愛」と「奉仕」、「友愛」と「利益」は結びつきやすいが、「利益」と「奉仕」は結びつきにくい。これを結びつけたのがロータリーの奉仕の哲学である。この奉仕の哲学を表現したのが「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」である。1908年に入会したシェルドンが、奉仕の大切さ、「利己と利他との調和」を説き、“He profits most who serves best (最もよく奉仕する者、最も多く報われる)”と述べた。

ガイ・ガンディガーの『ロータリー通解』によると、ロータリーは最も良質な人が集まり、例会で研鑽し、利己と利他との調和により自分の職業を改善し、同業者を改善し、地域全体を改善していく、そういう人づくりである。ロータリーでは利己と利他との調和により、私的利益の追求が世のため人のためになる。そういう図式をつくったのがロータリーであり、ロータリー運動である。

天地の理法を認識すれば「利己と利他との調和」も認識できる。「利己と利他との調和」が「奉仕の心」であり、この「奉仕の心」を自分の職業に適用するのが職業奉仕、地域に適用するのが社会奉仕、世界に適用するのが国際奉仕である。

自分の利益を追求することが世のため人のためになるには、根底に奉仕の哲学がなければならない。奉仕の哲学はロータリーの基本中の基本である。

規模も適正で、他に類例を見ない青少年友の会をもつ今治ロータリークラブで、本物のロータリーを目指そう。

次回例会 (2月27日)

[I M 報 告]

< 会員誕生日 > 中川 嘉明氏 (3 / 2) 黒川 浩氏 (3 / 5)
 < 夫人誕生日 > 笠間 徹也氏 (3 / 3)
 < 入会記念日 > 宮本 哲夫氏 (2 / 27) 笠間 徹也氏 (2 / 28)
 西信 正男氏 (3 / 2)

[献立 ; 国際ホテル]